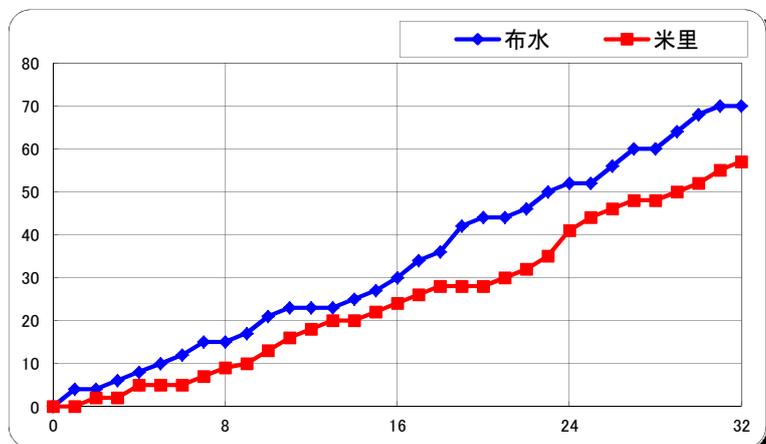




大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	さいたま市記念総合体育館																
日時	平成24年8月23日(木) 12:20																
コート	Aコート	第3試合															
カテゴリー	男子 決勝トーナメント																
主審	大江 裕之 (岐阜県)																
副審	赤岩 恒治 (福岡県)																
Team A		Team B															
布水	70	57 米里															
(石川県)	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	15	1st	9	15	2nd	15	22	3rd	17	18	4th	16		OT		(北海道)
15	1st	9															
15	2nd	15															
22	3rd	17															
18	4th	16															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		布水					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	酒井 達晶	×	16	0	8	0	1
5	大倉 龍之介	×	26	0	13	0	5
6	津田 峻輝	/	4	0	2	0	3
7	中道 直	DNP	0	0	0	0	0
8	長 和樹	×	21	0	10	1	1
9	鶴見 隆郁	DNP	0	0	0	0	0
10	近藤 元樹	/	0	0	0	0	0
11	戸上 玲央	DNP	0	0	0	0	0
12	塚村 順平	/	0	0	0	0	0
13	布村 健人	×	0	0	0	0	0
14	竹腰 晃太	DNP	0	0	0	0	0
15	竹松 寛太	/	0	0	0	0	0
16	山本 幹太	/	0	0	0	0	1
17	中川 海斗	/	0	0	0	0	0
18	下濱 永遠	×	3	1	0	0	1
監督	小田原 誠						0
コーチ	石過 祐樹						0
合計			70	1	33	1	12

Team B		米里					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	北澤 峻	×	0	0	0	0	0
5	清野 司	×	26	4	7	0	0
6	北澤 樹	×	14	2	4	0	0
7	山田 友哉	×	8	0	2	4	0
8	兼平 大夢	×	9	0	3	3	1
9	相原 康平	DNP	0	0	0	0	0
10	佐藤 大樹	DNP	0	0	0	0	0
11	水口 翔太	DNP	0	0	0	0	0
12	神原 辰哉	/	0	0	0	0	1
13	伊藤 大賀	DNP	0	0	0	0	0
14	佐藤 あおば	DNP	0	0	0	0	0
15	畠山 紘次	DNP	0	0	0	0	0
16	赤松 錬	DNP	0	0	0	0	0
17	石黒 航	DNP	0	0	0	0	0
18	境 和英	DNP	0	0	0	0	0
監督	山下 和幸						0
コーチ	斉藤 由佳						0
合計			57	6	16	7	2

【戦評】

両チームともハーフコートマンツーマンDefでスタート。開始早々、布水は#4のドライブ、#8のリング下で得点。一方の米里は、布水の高さに苦しんで、中を攻めることができずに外からのシュートで応戦するが決まらず得点できず。その間、布水は#5、#8の高さを生かした攻撃で得点を重ねる。攻めあぐんでいた米里だったが、相手のミスから#7がボールを奪いバスケットカウント、#6のミドル、#8のドライブなどで得点し布水15-9米里で1Qを終了。2Q、開始直後から、布水#5の巧みなポストプレーやアシスト、#4のドライブなどで得点を重ねる。このまま、布水のペースになるかと思われたが、布水#5が3つめのファールでベンチに下がると、米里がインサイドに積極的に攻め込み#5、#8が得点。布水のファールが増えて残り5分でチームファールが5つとなる。その後も米里は相手のファールを誘い、確実にフリースローを決め、残り3分には3点差まで追いつく。たまたまタイムアウトをとった布水は、#8が連続ゴール、終了間際に#18が3Pを決め、布水30-24米里で前半が終る。

後半、開始早々から、布水#5が自らの得点やアシストで突き放しにかかるが、米里も#5、#6、ミドルシュートで応戦する。布水は#4、#5が起点となり得点を続ける。一方、米里は#6の連続3Pなどでついていき、布水52-41米里で3Q終了。4Q、開始直後、米里#5が3Pを決めると、米里に勢いが出てくる。このとき、布水#5が4つ目のファールを犯し、流れが米里に傾くかと思われたが、ここから布水#5がドライブやフェイドアウェイなどで得点を重ねる。米里も#5の連続得点で応戦するが、布水の多彩な攻撃が上回り、布水70-57米里で布水が勝利した。

【戦評記入者】

玉川 敏史